



恥をしのんで  
近くの集落へ  
水をもらいに  
行かへんかい

おいしいみんな  
このままでは  
せつかく移住して  
きたのに  
みんな死んでしまう



それで地面を  
掘れば？

なにさ  
あんたらお殿様  
からクワやカマや  
もらったでしょ



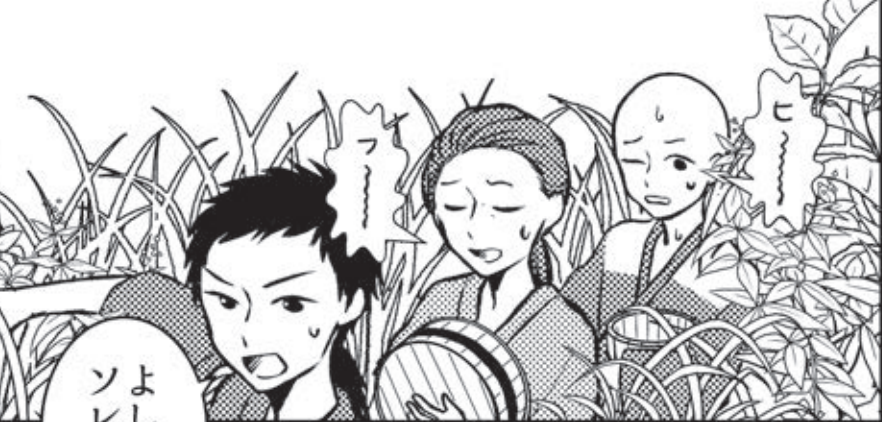
なんとか  
水を恵んでは  
もらえまへんか



：しよすがないねえ  
これ一回きりだよ

いろいろな  
掘つたを  
ですがたん  
ですよん





よしっ  
ソレっ  
ッ!

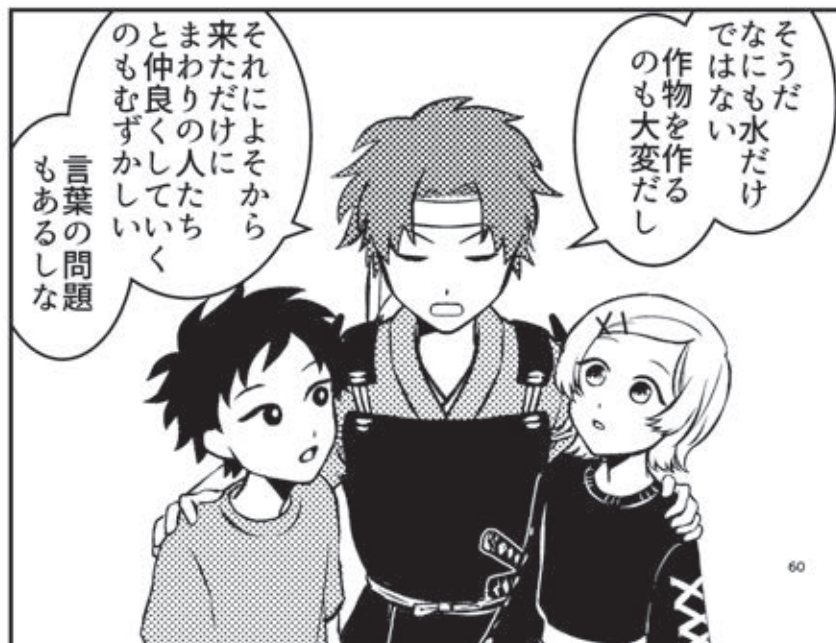


うわあ  
これはあ  
すごいや



ちよつと  
遠いが  
みんな  
がんな  
ばって  
ここま  
で水を  
くみに  
来るぞ







ハのサ

エエッ？

荒佐野の近くに  
加治木堀って  
あったっけ？

いやあ  
初めて  
聞いたわ

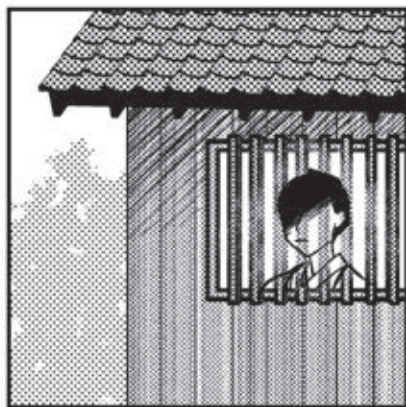
加治木堀

この加治木堀というのは  
薩摩藩直轄の土地で

ここに館があり  
付近の住民を  
見張っていたんだ

荒佐野の  
人たちを  
監視してた  
んですか

藩外から  
やって来たから  
警戒して  
いたんだろう











そうなんだ  
移住のための  
視察や準備

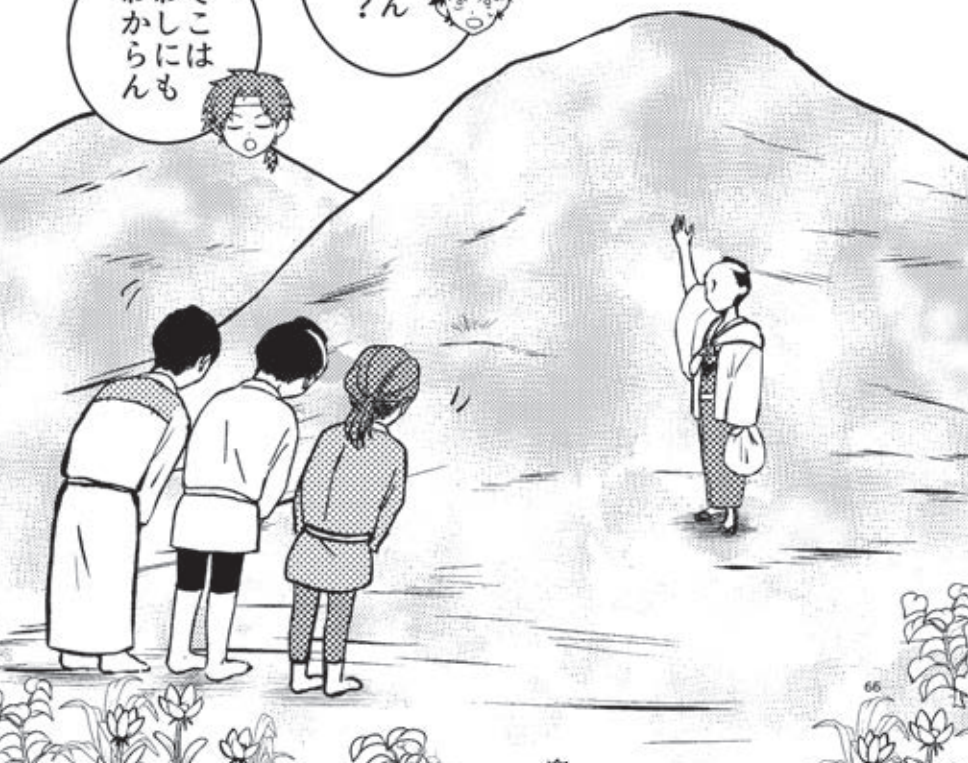
手配などすべて  
自分で行って  
実際にここに  
連れて来て  
やっつけていけるめどが  
たったところ  
で摂津の国に  
帰られた



何か  
あつたか  
かた？



そこは  
わかしも  
わかん





# 豊作を願い、幸せを祈って神々 かみがみ に捧げるユーモラスな神舞 ささ かみまい

マンガの中にも登場する照日神社では、毎年3月の第2日曜日に春祭りが開かれる。そこで踊られる神舞というのを知っているだろうか？神舞というのは、日本という国が生まれる過程かていを神々の姿くしろみになぞらえた国生神話あまのいわとや、天戸あまてらすにおかくれになった天照大御神を外に連れ出したという神話などをもとに演じる舞のことだよ。もともと、19の演目があったけどしよきじん現在残っているのは「小鬼神の一人舞」「田之神」「杵舞」など8項目なんだ。紅白の幕を張った舞台上、祭の日に演じられている。

照日神社の神舞は都萬神社の神舞を受け継いで、明治26年から踊り始められた。都萬神社の神舞は大正の初め頃とだに途絶えてしまったので、地域では大切な無形文化財なんだ。それで、照日神社の神舞の特徴はなにかというと、ユーモラスな動作が入っているということだ。たとえば、「杵舞」では、手ミノを持ってモミガラをふるう嫁よめのきもの裾すそを、下で支える男二人がめくるといった滑稽こっけいな様子が演じられる。今だったらセクハラで問題になるだろうけど、昔の人たちは芝居の世界でおもしろおかしく演じて、お客様の笑いをとるのが楽しみだったわけだね。

「四人鬼神」に登場する赤い顔の恐い鬼たちが舞うことで、農作物につく害虫を払って豊作になりますようにといった幸せへの願いがこめられている。今はテレビやスマホがあって、天気情報も簡単に知ることができるけど、昔はそんな便利な道具はないよね。だから、神様にお供えて、こうした舞を奉納してただひたすらお願いするしかなかった。当時の荒佐野の人たちの気持ちに心を寄せながら見学してみようか。



■第5話 わてらも、やったるわ

次左衛門様は  
自分が去つても  
彼らはちゃんと  
やっついていけると  
確信したんだらう


そして  
こんな教えを  
みんなにのこして  
去つて行つたんだ

一つ  
屋敷は広く  
構え

なるべく  
家の近くに  
耕地を  
つくること

一つ  
屋敷には  
庭園を作る  
こと

そして庭園は  
いつもきれいに  
しておくこと



一つ朝は鶏の声と  
ともに起きて

女や子どもは  
水くみに行く  
こと



一つ男は作物の  
世話を開墾に  
精を出せ



荒佐野の  
人たちは  
その教えを  
ずつと守つて  
きたんです  
ね



そうだ  
しかし荒佐野に  
豊かな時代が  
来るまでには

次左衛門様の  
働きだけでなく  
移住してきた人たち  
ひとりひとりが  
知恵を出し  
汗を流さなければ  
ならなかった





みんな忙しいところ  
集まってくれて  
ありがとさん

それに  
毎日仕事に  
精出してくれて  
おつかれさん!



仕事ばかりも  
何だから  
たまには骨休め  
もしたい思うてな  
みんなも知つとる  
あの伊勢まつりを  
ここでやろう  
思つとる



お伊勢まつりが  
ほんまにここで  
できるんか?



よっしゃあ

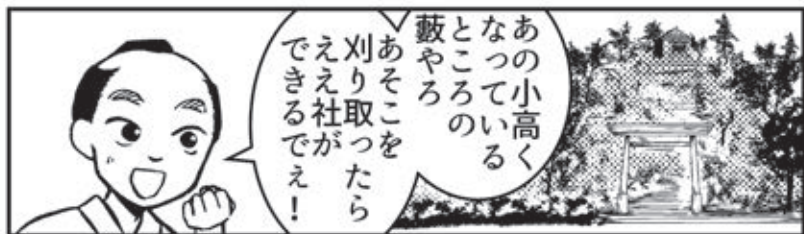
よっしゃあ



伊勢神社を勧請する  
許可をもらうとつた!

ああ  
あの次左衛門様が  
ここに来る前に  
薩摩のお殿様に  
お願いして



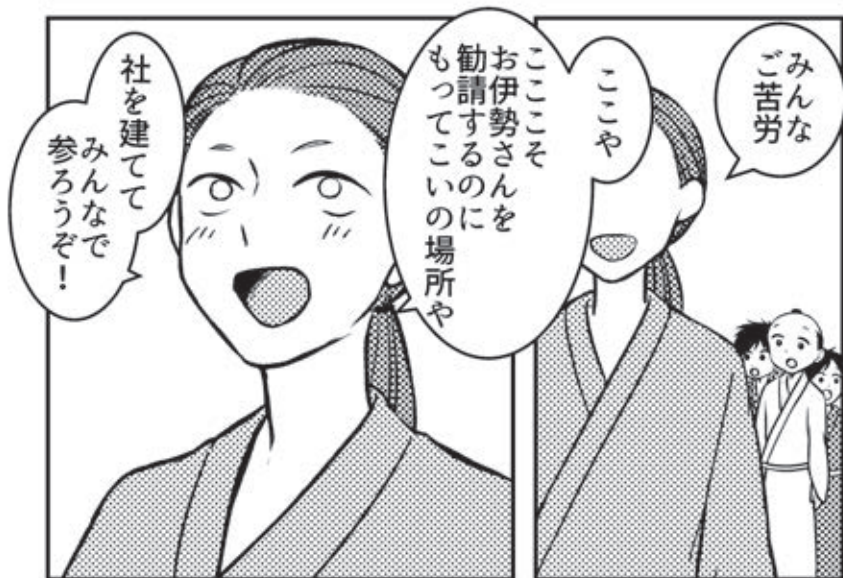


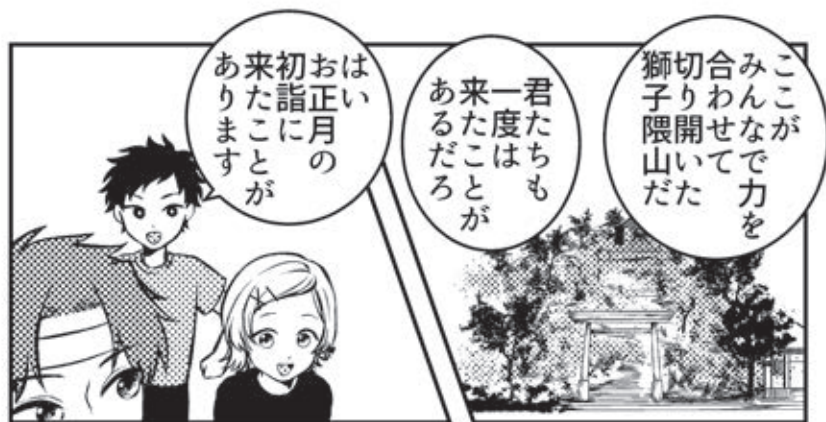












ここが  
みんなで力を  
合わせて  
切り開いた  
獅子隈山だ

君たちも  
一度は  
来たことが  
あるだろ

はい  
お正月の  
初詣に  
来たことが  
あります



私は毎夏  
照日神社の  
六月灯を  
楽しみに  
しているの



そうか  
それが  
先祖様  
が  
苦勞して  
おかげ  
でだ

さて

水が確保でき  
心の拠り所である  
お伊勢様も  
できたが  
まだまだ  
苦勞は続くぞ



先日  
手紙が来てな



徳川のやり方が  
よっぽど気に  
食わんのやろ

ええわええわ  
うちで  
受け入れよう  
やありませんか



10月には松元の  
大取松元嘉兵衛が  
主取名ほど  
30名ほど  
を率いて  
ここ荒佐野に  
やって来る  
そうや



※主取とは移住者をまとめるリーダーのこと

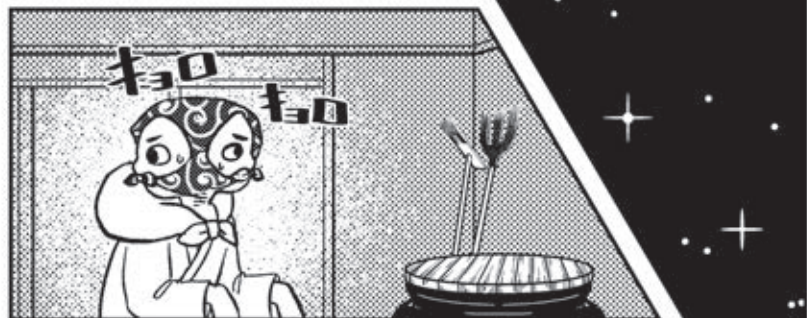
もちろん  
受け入れは  
かまへんけど

今も食うに  
かつ場所も  
住む場所も  
確保せな  
あかんし…













わしらも  
大変やが

松元さんたちも  
知らん土地で  
もつと大変やろ

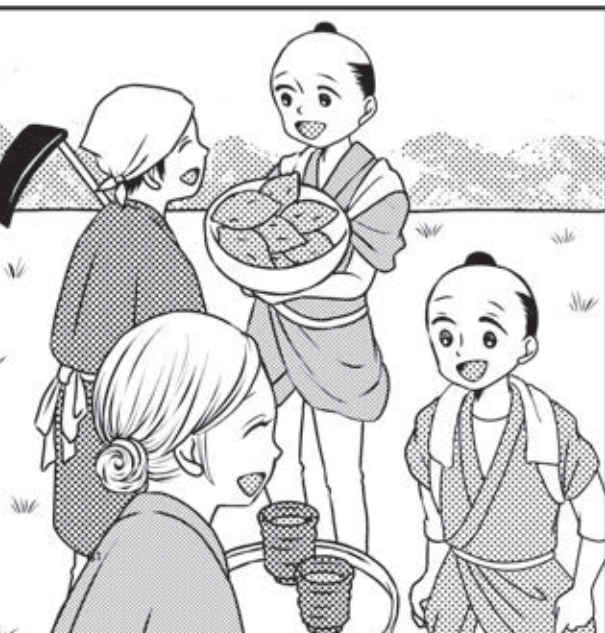
荒佐野で  
暮らす限り  
みんな仲良  
うせなあかん

苦勞して  
開いた土地を  
あの人たちに  
分け与えようと  
思うがええか

そうして  
あげまひよ

うん  
うん

ありがとう  
ございます







ところが  
移住者は1回だけ  
ではなく元禄5年  
には田原文兵衛  
以下38名が

そして  
元禄7年には  
清山佐太郎  
服部仲大  
以下52名が  
移住してくる

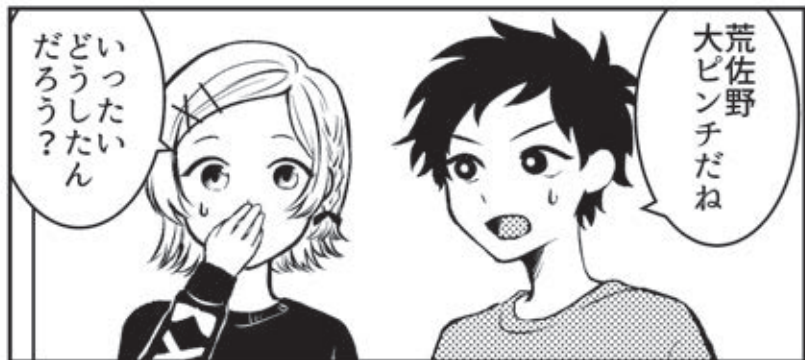


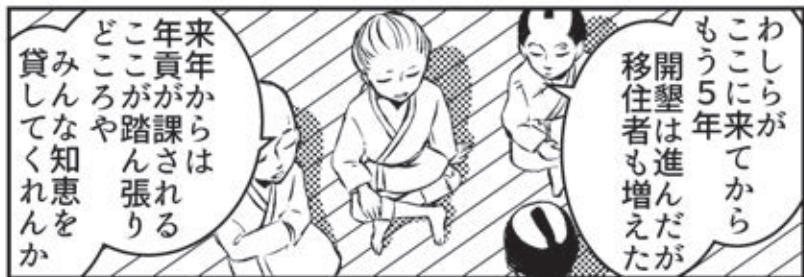
エエーッ！

そんなに  
やって来たの？



たしか最初の  
移住から5年は  
租税を納めなくて  
よかったのに  
5年たったから  
取り立てもあるわ！





主取のみなさん  
からええ知恵を  
もろた

そいでな  
みんなも  
みんちやん  
じあちやん  
ばあちやん  
話を聞いた  
ことがあろう

この薩摩ちゅう  
国はお侍さんが  
強いところじゃ  
昔関ヶ原の戦いで  
島津義弘公は  
敵中突破を果たし  
あの家康も肝を  
つぶした

その勇気を  
見習わな  
あかんし

われわれにも  
なにわ魂が  
ある！

薩摩魂となにわ魂を  
合わせりや  
怖いもんなしや！





## コラム⑥

# 開拓者精神が現代に根付く

### ごみの中には使えるものがいっぱい

コラム1から5までは、長い年月を刻みながら今に残る建造物や文物、踊りなどについてのお話だった。6番めは歴史はそんなに古くはないけど、町のみんなが取組んできた資源リサイクルのことだよ。大崎町は埋立処分場を長く使うためにごみのリサイクルに取組み平成18年から令和3年までの間に、リサイクル率日本一を14回達成しているんだ。ところで、このリサイクル率って、どういうことかわかるかな?生活をしていく中で、いわゆるごみと呼んでいる不要なものが出るけど、それをそのまま埋め立てたり燃やしてしまってもいいのだろうか。ビンとか空き缶はもちろん、リサイクルできるものがたくさんあるよね。それをていねいに分別し、もうどうやっても使えないというごみだけを埋め立てたらどうだろう。

### リサイクルで1年に7千万円も節約できた

そういう発想から、大崎町では平成10年9月から缶、ビン及びペットボトルの分別を始めたんだ。すると、町民の協力があって分別はどんどん細分化されて、今では27品目にもなった。リサイクル率は80%を超えているんだよ。リサイクルをすれば、どんな利点があるかということ、まず焼却炉を建設したり維持していく費用がおさえられる。ごみとして埋め立てる量が多いとすぐに満杯になり、新たな処分場をさがしたり造ったりするのにお金がかかるね。そうした費用が少なくてすむんだ。ちなみに、令和3年度のごみ処理事業にかかる費用は住民1人あたり全国平均17,000円だけど、大崎町は11,700円だった。つまり、差額は5,300円、それに町内の人口12,532人をかけると約7千万円が節約できたことになる。そのお金は福祉や教育など他の分野に役立てられたんだ。

項目	全国平均	大 崎 町		
	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実態調査時人口	126,061,891人	12,951人	12,784人	12,532人
ごみのリサイクル率	19.9%	82.6%	83.1%	81.6%
1人当たり ごみ処理事業経費	<b>17,000円</b>	9,400円	11,500円	<b>11,700円</b>

**(17,000円-11,700円)×12,532人≒約7千万円/年が、福祉・教育等他分野へ**



コラム⑥

# 資源リサイクル日本一の大崎町



## 大崎方式のリサイクルは海外へも

リサイクルによってお金が節約でき、資源となるごみを売ることで利益も生み出したんだ。そうして得たお金は「リサイクル未来創生奨学金」になり、大崎の子どもたちが勉学に励み、ふるさを活性化してくれる人材に育つための支援金となっている。また、町のリサイクルセンターで働いてくれる人も増えるなど、いろんなメリットが生まれているんだ。さらに、草の根技術協力事業として、インドネシアの州や市から要請があり、現地での廃棄物処理やリサイクルセンターを稼働させるための支援を行っている。大崎から世界へ、だね。

## SDGs による持続可能な大崎町をめざして

SDGs という言葉はよく耳にするね。地球温暖化とか世界がかかえているいろんな問題を解決し、持続可能な社会をつくるための目標だ。大崎町は令和元年に SDGs 推進宣言をし、その年の3月に持続可能なまちづくり推進条例をつくり、「リサイクルの町から世界の未来をつくる町へ」という新たな目標へ向けていろんな取り組みを始めている。自分の町だけが良くなるのではなく、日本そして世界中がいっしょになってがんばらなければならない。だれ一人として取り残さないように!

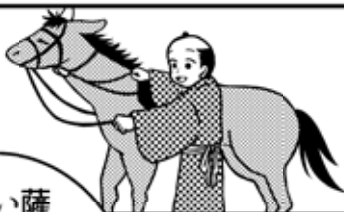
防風林として先人が考えた松林「くにの松原」<sup>せんじん</sup>や不毛の地帯と呼ばれていた荒佐野地区を住民の力を合わせて切り拓いていったその精神がここ大崎町のリサイクル日本一の原点になっているのかもしれない。



# ■ 第6話 荒佐野の未来を担うのは子供たち



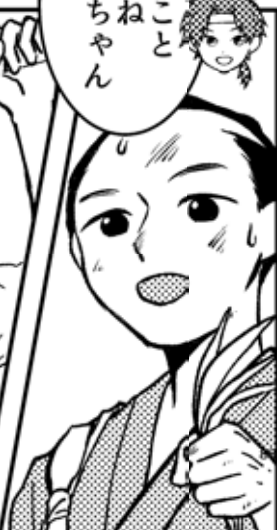
うわあ  
みんな  
やる気が  
なげてる！



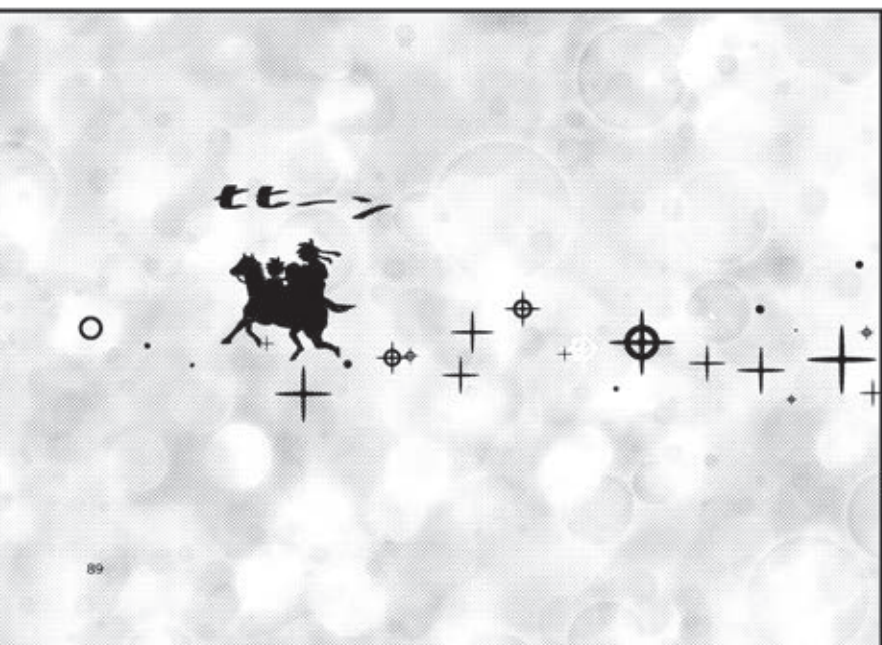
薩摩となにわ魂が  
いっしょになつて  
開拓者魂に  
なっちゃった！

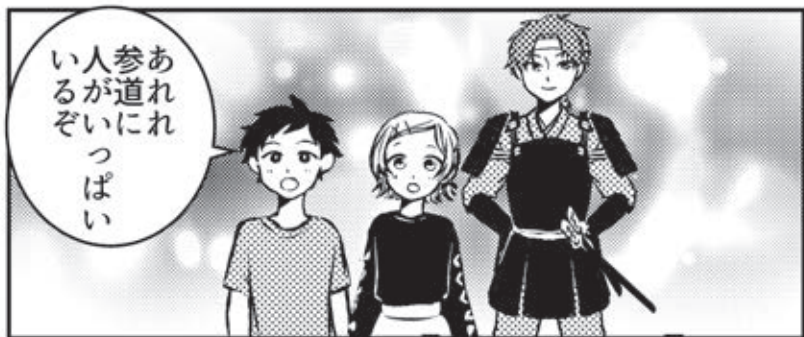


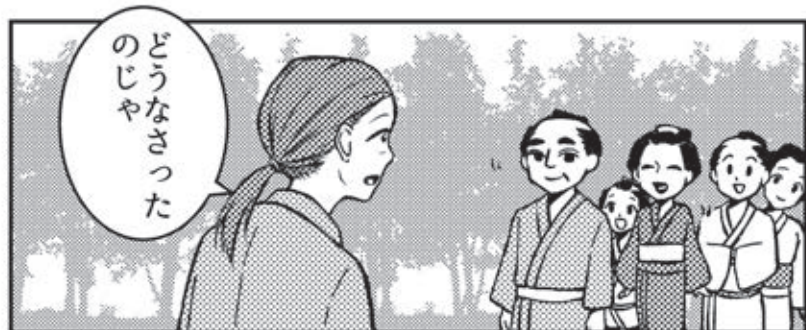
いいこと  
言うね  
レイちゃん



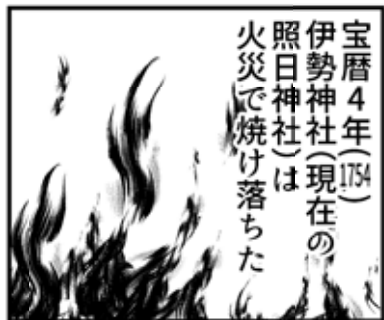




















山の植林に  
精を出したんだ

さらに  
荒佐野の  
人たちは  
開墾とともに



はげ山みたいなの  
所がぼつんと  
神社があつたら  
威厳がないし  
みんなお参りに  
行かないだろ



だから獅子隈山に  
みんなで力を  
合わせて何年も  
時間をかけて  
松や楠の苗を  
植えた





常に子供たちの  
将来のことを  
考えて教育に  
力をくれたんだ

荒佐野では  
開墾するのに  
苦労したが

あっ  
寺子屋で  
勉強してる？



何を  
教えてくださいか？

そう  
荒佐野では  
薩摩藩内では  
早い時期には  
寺子屋が  
できています



ああ  
薩摩弁は  
地元の人と  
話せるように  
なにわ弁は  
自分が  
後にした  
故郷の  
言葉を  
忘れない  
ように

読み  
書き  
そろばん  
それに  
薩摩弁と  
なにわ弁  
という  
教えた

薩摩弁と  
なにわ弁？





君たちが学校で  
いろんなことを  
学び遊んでいる  
ように



江戸時代の  
荒佐野の  
子供たちも

豊かな自然の  
中でのびのび  
育ったんだ



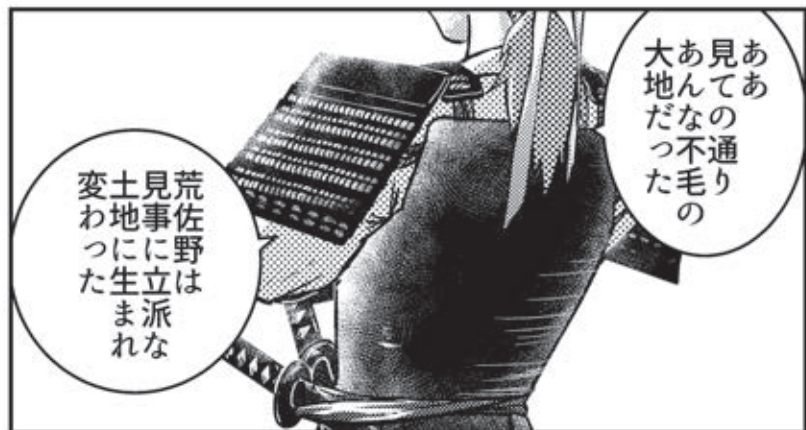


■照日神社の横にある展望台

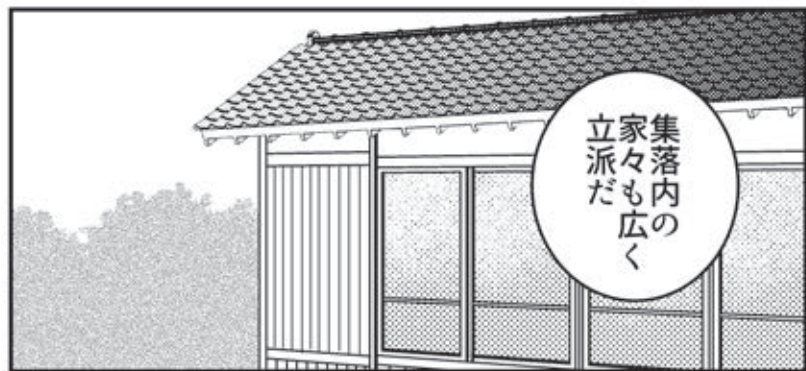


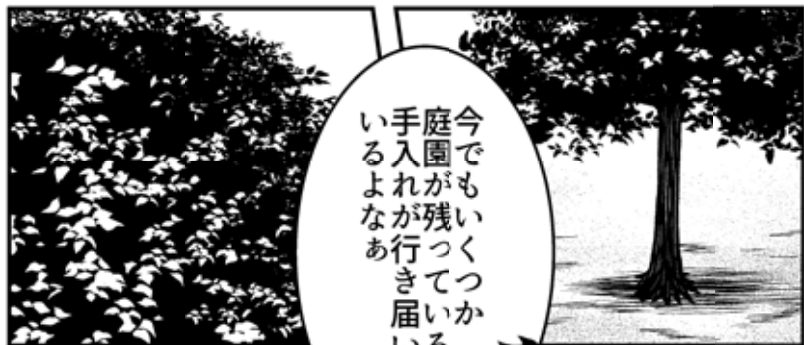
そうね  
ふるさとを  
まるごと  
感じられるね

やっぱここから  
見る景色は  
最高だなあ





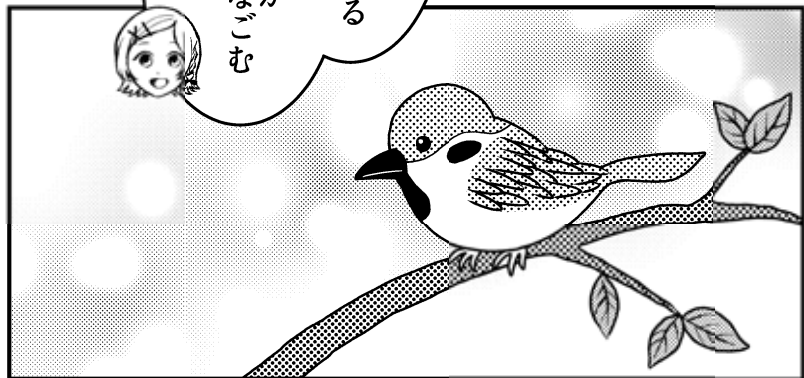




今でもいくつつか  
庭園が残っているけど  
手入れが行き届いて  
いるよなあ



そうなの  
私も近くにある  
お庭が好き  
気持ちがいい  
ふつとなごむ  
のよね











# 荒佐野の歴史

年号	西暦	荒佐野の歴史	世の中のできごと
慶長 5	1600		関ヶ原の戦い 徳川家康が江戸幕府 を開く (1603 年)
貞亨 2	1685	摂津の郡奉行、出原次左衛門が荒佐野の現地調査をする	このころ、徳川綱吉 <small>しょうらいあわ</small> が生類憐れみの令を 出す
元禄元	1688	荒佐野への移住が始まる	<small>やなぎさわよしやす そぼようじん</small> 柳沢吉保が側用人に就任 イギリスで名誉革命
元禄 2	1689	荒佐野獅子隈山の上に伊勢神社をまつる	<small>まつおぼしろう</small> 松尾芭蕉が「奥の細 道」の旅に出る
元禄 3	1690	松元嘉兵衛以下 30 名が移住	
元禄 5	1692	田原分兵衛以下 38 名が移住	<small>いはらさいかく</small> 井原西鶴が「世間胸 算用 (せけんむなざんよう)」 を刊行
元禄 7	1694	清山佐太郎、服部仲太以下 52 名が移住。出原治左衛門は都合により帰国となる	
宝永 4	1707	荒佐野の源兵衛が土地の境界問題で加治木堀から来た者を斬りつけるという事件が起こる。(源兵衛事件)	宝永の大噴火、富士山が噴火する
享保 5	1720	源兵衛事件のようなことが起こらないよう「御公領検地塚立の儀」が行われる	徳川吉宗の治世 ヨーロッパでペスト が大流行
享保 6	1721	ひどい風水害に見舞われる	



# 荒佐野の歴史

年号	西暦	荒佐野の歴史	世の中のできごと
享保 17	1732	大飢饉 <sup>だいききん</sup> におそわれ、不作のため年貢 <sup>ふかご</sup> の歩下がりをお願いし、聞き入れてもらう	享保の大飢饉 <sup>きょうほ だいききん</sup> が起こる
宝暦 4	1754	獅子隈山に村中総出で杉苗 2,000 本を植え付ける	
宝暦 5	1755	同じく杉苗を 1,500 本を植える	奥羽 <sup>おうう</sup> 地方で飢饉が起こる
明和 2	1765	伊勢神社 <sup>じょうじゆ</sup> の改築が成就する	ワットが蒸気機関をつくる
安永 8	1779	桜島大噴火、大地震起こる	
文化 13	1816	伊勢神社を修理、八月踊りを行う	打ちこわしなどが駿河 <sup>するが</sup> などで起こる
文政元	1818	藩主お越しのため、御仮屋 <sup>にんぶ</sup> へ人夫を 30 人出す	
天保 4	1833	天災が起き、大飢饉で竹の実スミナの球根を食べる	
安政元	1854	嘉三次生産の名馬「荒佐野号」が斉彬公に賞せられる	日米和親条約締結

※年月や出来事については諸説あります。

いちがん

## 一丸となって全力で取り組む

仮に10人いたとして、ものごとを進めていく時に1人が2人いっしょうけんめいが一生懸命がんばっても、なかなかうまくいかない。うまく進めるためには、10人の知恵ちえと力を集め、みんなが全力で取り組むことが大事なんだ。荒佐野へ来た人たちも、水を求めて全員でさがしに行き、少しの水を得ても全員で分け合って使ったよね。こうすることで団結力だんけつりょくが生まれ、その力はいろんなところで活かされていくんだ。

私たちのまちの基盤きばんづくりに活躍した

## 荒佐野の先人に学ぼう

### 話し合いを持つ、相手の立場になる

荒れ地こうさくちを耕作地に変えるにはどうするか?自分たちの行動をたえず見張られているようで落ち着かない。まわりの人はだれも声もかけてくれない…マンガで見てきた通り、移住者にはいろんな困難こんなんがふりかかった。その時に、彼らは困難を一人でかかえこまないで、周りの人たちと話し合いの場をもった。そこで、いろんな意見を出して困難を乗り越えていった。また、もし自分たちが後から移住してきた新参者しんざんだったらとか、相手の立場になって考え解決していった。こうしたやり方は、クラスや部活などで問題が発生した時に、解決の大きなヒントになりますね。

## 先祖やふるさとを大切にする

今、自分がここにいるのは、だれのおかげだろう？そう考えた時、まず思い浮かぶのはお父さん、お母さん、きょうだい、そしておじいちゃん、おばあちゃん、あるいは近所の人たち…。いろんな顔が出てくるだろう。また、山や川などふるさととの自然もいろんなことを教えてくれたにちがいない。荒佐野の先人たちも生まれ故郷の大阪や、今暮らしている薩摩ほこに誇りを持ち、感謝かんしゃの念を忘れなかった。それが、荒佐野という新しいふるさとをつくる力になったんだ。

旅行などで知らない所へ行くのは楽しいかもしれないけれど、まったく知らない土地で暮らすとなると不安でいっぱいでしょう。でも、関西から荒佐野へやって来た先人たちは自分たちの力で田畑を開き、水を引いて、作物を育てて、荒れた野山を豊かな土地へと変えていった。その中から学ぶことを4つほど取り上げてみました。学校生活でも地域活動でも活かせることばかりだよ。

## 地域との交流やふれあいを密みつに

大きな祭りとかイベントがある日は、朝からワクワクするね。祭りそのものの楽しさもだけど、どんな友だちに会えるのだろうかという期待きたいもふくらむ。コロナであまり話す機会がなかったので、たくさんお話ししたいという友だちに会えるかもしれない。荒佐野の人たちも照日神社をつくって、お参りしては豊作ほうさくを祈ったり、集まってきた人たちと日々の苦勞をねぎらったりした。そのうちに荒佐野のまわりの人たちもお参りするようになって、交流の輪がひろがったよね。多くの人とふれあうことで地域はどんどん輝いていくんだ。



# MESSAGE

マンガ制作活用検討委員会委員の皆さまに、大崎の子どもたちに向けたメッセージをいただきました。



弓削一弘委員

野方荒佐野を舞台にした、偉人マンガ制作に感謝します。また、このマンガを通して、子ども達が野方・荒佐野など、ふるさとの歴史に興味を持つことを期待します。



清山重則委員

1688年 我が先祖を荒佐野に受け入れてくださった、薩摩藩主島津光久殿様ありがとうございます。



古田由香委員

身近な歴史に触れ、興味を持つ機会となることを願っております。



宮園誠委員

大崎町や野方の歴史に興味をもって、自分の人生に生かしてくれたいと思います。



吉留雅樹委員

この教材を読んで、荒佐野への思いが格段に大きくなったのは私だけではないと思う。



新宮邦久委員

未来の子ども達への宝となるように！

## へんしゅうこうき 編集後記

いじん せいさく こ きょうどあい  
偉人マンガの制作にあたり、子どもたちへ郷土愛を  
はぐく しょうらい かた つ じんぶつ  
育むために、将来、語り継いでいきたい人物はだれ  
かについて、なんど かいぎ かせ  
かについて、何度も会議を重ねてきました。そして、  
おおさきちやう いみん れきし はなし  
大崎町の移民の歴史をテーマにするのはどうかとの話  
がまとまり、いずはらじさえもん けつてい いま  
「出原次左衛門」に決定しました。今となっ  
ては、このことが遠い昔のように感じます。

まづもってマンガ制作に関わることは初めての経験  
で、まんがか さが こと いちばんさいしょ なんしょ さまざま  
漫画家を探す事が一番最初の難所でした。様々な  
かたがた きやうりよく あお さいしゅうてき ほうじん  
方々のご協力を仰ぎながら、最終的にはNPO法人  
マンガプロジェクト鹿児島さんにたどり着き、急いで  
きやうぎ い おも だ  
協議に行ったことが今でも思い出されます。

はっかん せいさくかつやうけんとういんかい  
発刊するまで、マンガ制作活用検討委員会委員をは  
じめ、いろ いろ とく  
じめ、色々な方々に関わっていただきました。特に、N  
PO法人マンガプロジェクト鹿児島さんには、取材から  
が けんとう た だ い じんりよく  
ラフ画制作、コラムの検討など多大なご尽力をいた  
きました。ここに、おお かんけいしゃ みなさまがた あつ  
多くの関係者の皆様方に厚く  
おんれいもう あ さいご すえなが  
御礼申し上げます。最後に、この偉人マンガが、末永  
く大崎町の子どもたちや町民をはじめ多くの皆様に愛  
さされるマンガとして活用していただければ幸いです。

マンガふるさとの偉人

# 不屈の魂

～荒佐野を拓いた人たち～

2024年3月1日 初版発行

発行	鹿児島県曾於郡大崎町
監修	■マンガ制作活用検討委員会 委員長：穂園 正幸 大崎町教育委員会教育長 弓削 一弘 野方公民分館長 清山 重則 文化財保護審議会委員・歴史探学会おおさき会長 古田 由香 文化財保護審議会委員・学芸員 宮園 誠 大崎町立野方小学校校長 吉留 雅樹 大崎町立大崎中学校校長 新宮 邦久 B&G大崎わんぱーく海洋クラブ代表
歴史考証	岩川 拓夫 仙巖園学芸員
制作	■NPO法人マンガプロジェクト鹿児島
漫画作画	あさごはん 作画補助：つくしゆか
原案	春野 洋治郎
制作統括	四元 重美
印刷・製本	西文社印刷株式会社







Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

